

科目名: <b>組織におけるメンタルヘルス・マネジメント</b>		科目コード	EA99
科目主査: <b>満田 大</b>		単位	2
担当講師: <b>五十嵐 美貴、池山 稔美、高田 靖子、満田 大</b>		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>職場におけるメンタルヘルス対策は、人事担当者、管理監督者、社員らがそれぞれの役割を認識し、メンタルヘルスに関する正しい知識を身につけておくことが重要です。本科目では、主に管理監督者を対象として、社員のメンタルな領域をマネジメントできるよう、ストレスやメンタルヘルスに関する知識を習得します。さらに、実際に社員から相談を受けた際の対応方法や、社内外資源との連携、あるいは社員の復職支援といった具体的な配慮についても学習します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	心理系の科目を履修していると、復習も兼ねて理解が深まるでしょう。		
テキスト	『メンタルヘルス・マネジメント検定試験公式テキスト[Ⅱ種ラインケアコース]』大阪商工会議所(編),中央経済社		
この科目の到達目標	<p>① 産業分野で多くみられる精神疾患について、その定義や治療法、対処法などを自らの言葉で説明できる。</p> <p>② 習得した知識を、管理監督者として部下への対応に応用でき、社内外資源の概要やその活用法について述べることができる。</p>		
成績評価の方法	最終試験の結果を重視します。最終試験は90点満点で、多肢選択式40点と記述式50点の構成になる予定です。試験範囲は講義で取り上げた内容とし、講義で取り上げないテキストの内容からは出題しません。テキストやノートの参照は可とします。		
事後学習	ノートや配布資料などを基に、自分自身のメンタルヘルスを振り返り、周囲で生じたメンタルヘルス上の問題を検証してみると良いでしょう。また、実際の検定試験を受けてみるのも一つの方法です。		
事後学習の参考文献	『最新図解 やさしくわかる精神医学』上島 国利, ナツメ社, 2017年 『はじめての精神科 第3版』春日 武彦, 医学書院, 2020年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			